

iシェアーズ 米国株式
インデックス・ファンド

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式／インデックス型
信託期間	無期限です。(設定日:2013年9月3日)
決算日	5月2日(休業日の場合は翌営業日)
運用方針	<p>①米国の株式市場を代表する指数に連動する運用成果を目指します。対象指数の選定および変更に当たっては、当ファンドの商品性および運用上の効率性等を勘案し委託者の判断により決定するものとします。</p> <p>②効率的な運用を目的として、株式を主要投資対象とする上場投資信託証券(ETF)への投資を行なう場合があります。</p> <p>③対象指数との連動を維持するため、先物取引等を利用することがあります。その際、株式の実質投資比率(組入現物株式の時価総額に株価指数先物取引等の買建額を加算し、または株価指数先物取引等の売建額を控除した額の信託財産の純資産総額に対する割合をいいます。)が100%を超える場合があります。</p> <p>④外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>⑤ブラックロック・インスティテューショナル・トラスト・カンパニー、エヌ・エイ。(BlackRock Institutional Trust Company, N.A.)に有価証券の貸付の指図に関する権限の全部または一部を委託します。</p> <p>⑥資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。</p>
主要運用対象	米国の株式等を主要投資対象とします。
組入制限	<p>■株式への投資割合には、制限を設けません。</p> <p>■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</p> <p>■上場投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。</p>
分配方針	<p>年1回の毎決算時(原則として5月2日。休業日の場合は翌営業日)に、原則として以下の方針に基づき、分配を行ないます。</p> <p>■経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益および売買損益(繰越欠損補填後、評価損益を含みます。)等の全額を分配対象額の範囲として分配を行ないます。</p> <p>■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。基準価額水準、市況動向等によっては分配を行なわないことがあります。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p> <p>■留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行ないます。</p>

第9期 運用報告書(全体版)

(決算日:2022年5月2日)

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは上記の通り決算を行ないましたので、

期中の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますよう

お願い申し上げます。

ブラックロック・ジャパン株式会社

〒100-8217 東京都千代田区丸の内一丁目8番3号

丸の内トラストタワー本館

運用報告書に関するお問い合わせ先

電話番号:03-6703-4300

(受付時間 営業日の9:00~17:00)

ホームページアドレス

www.blackrock.com/jp/

CONTENTS

- ◇ 基準価額の推移
- ◇ 運用担当者コメント
- ◇ ファンド状況
- ◇ 運用内容
- ◇ 資産状況
- ◇ 組入上位ファンドの概要

◇基準価額の推移

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			(ベンチマーク) S & P 500 指数 (円換算ベース)	投資 組	資 益 組	信 託 証 書 比 率	純 資 産
	(分配落)	税 込 分配金	期 中 騰落率					
	円	円	%					百万円
5期(2018年5月2日)	18,563	0	10.2	291,762.59	9.2	98.6		2,655
6期(2019年5月7日)	20,938	0	12.8	324,595.53	11.3	99.8		2,892
7期(2020年5月7日)	19,765	0	△ 5.6	302,701.66	△ 6.7	97.9		3,916
8期(2021年5月6日)	29,976	0	51.7	455,642.37	50.5	98.0		6,573
9期(2022年5月2日)	35,508	0	18.5	537,563.63	18.0	97.7		11,285

(注1) 基準価額は1万口当り。

(注2) S & P 500指数は、スタンダード&プアーズ フィナンシャル サービスーズ エル エル シー(以下、同社)が開発、計算した指数です。同指数に関する著作権、知的財産その他の一切の権利は、同社に帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

(注3) 純資産総額の単位未満は切捨て。

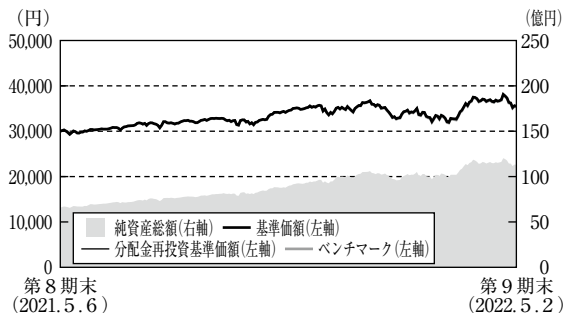
■当期中の基準価額と市況の推移

年 月 日	基準価額		(ベンチマーク) S & P 500 指数 (円換算ベース)	投資 組	資 益 組	信 託 証 書 比 率
	騰 落 率	騰 落 率				
(期 首) 2021年5月6日	円 29,976	% -	455,642.37			% 98.0
5月末	30,387	1.4	461,443.17	1.3		99.7
6月末	31,247	4.2	474,587.43	4.2		98.2
7月末	31,860	6.3	483,852.60	6.2		97.5
8月末	32,789	9.4	497,714.42	9.2		99.1
9月末	32,167	7.3	487,910.88	7.1		97.8
10月末	34,417	14.8	522,474.50	14.7		98.6
11月末	34,890	16.4	529,630.09	16.2		99.2
12月末	36,348	21.3	551,297.55	21.0		98.8
2022年1月末	33,787	12.7	511,612.66	12.3		99.3
2月末	33,494	11.7	506,646.83	11.2		98.1
3月末	37,200	24.1	563,293.69	23.6		99.4
4月末	35,642	18.9	539,144.48	18.3		97.7
(期 末) 2022年5月2日	35,508	18.5	537,563.63	18.0		97.7

(注1) 基準価額は1万口当り。騰落率は期首比。

(注2) S & P 500指数は、スタンダード&プアーズ フィナンシャル サービスーズ エル エル シー(以下、同社)が開発、計算した指数です。同指数に関する著作権、知的財産その他の一切の権利は、同社に帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

■当期中の基準価額等の推移について(第9期:2021年5月7日~2022年5月2日)



第9期首：29,976円

第9期末：35,508円(既払分配金0円)

騰落率：18.5%(分配金再投資ベース)

- *分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- *分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- *ベンチマークは、S & P 500指数(円換算ベース)です。
- *分配金再投資基準価額およびベンチマークは、前期末の基準価額に合わせて指数化しています。

◇運用担当者コメント

投資環境について

当期(2021年5月7日から2022年5月2日)、ベンチマークであるS & P 500指数(円換算ベース)は18.0%の上昇となりました。

米国株式市場は、2021年5月、インフレ懸念の高まりでグロース株中心に下落する局面がありましたが、その後長期金利が低下したことを受けて上昇しました。6月から7月にかけて、FRB(米連邦準備制度理事会)による量的緩和の早期縮小観測が後退したことに加えて、好調な4-6月期決算を受けて、米国主要株価指数が過去最高値を更新するなど堅調に推移しました。8月、引き続き決算発表シーズンにおいて好決算企業を物色する動きが見られ相場を支えました。9月に入り、中国の鉄鋼生産規制による鉄鉱石価格の暴落を背景に資源株が売られたことや中国不

動産大手の恒大集団の債務問題などが相場の重石となり、相場は軟調な展開となりましたが、10月は経済指標の改善や好調な7-9月期決算が相場を支え、主要な株価指数は再び最高値を更新しました。11月、引き続き好業績銘柄を物色する動きが見られましたが、オミクロン株に関する報道と行動制限への懸念から、月下旬にかけて上げ幅を縮小しました。12月、FOMC(米連邦公開市場委員会)など主要国中央銀行が相次いで金融政策の正常化へ舵を切ったことで投資家心理が悪化しましたが、オミクロン株への懸念が後退したことや堅調な年末商戦などから、月末にかけて上昇に転じました。2022年1月、FRBが金融政策の引き締めを前倒して進め、予想より早い時期にバランスシートの縮小を始めるとの見方が強まり、米長期金利が大きく上昇したことからハイテク株中心に下落しました。2月にはロシアがウクライナへの侵攻を開始し、軟調な展開が続きました。3月、ウクライナ情勢の緊迫化でリスク回避となった一方、停戦交渉の進展期待で買い戻される場面も見られました。加えてFRBが利上げを実施し、引き締めを積極的に進める見方を示したことで、金融政策への不透明感が和らぎ、大幅反発となりました。ただ、4月に入りFRBによる金融引き締めが一層加速するとの見方から長期金利が大幅に上昇したことや、また中国の新型コロナウイルス対策の行動制限への懸念が高まったことなどを受けて、下落に転じました。

ポートフォリオについて

当期は主としてiShares Core S&P 500 ETFを組み入れることにより、米国株式への投資を行いました。組入比率については概ね97%以上を維持しました。

基準価額の主な変動要因

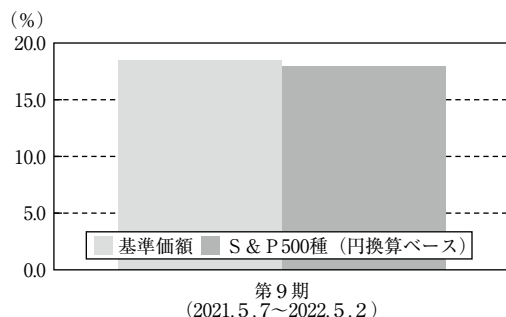
当ファンドの基準価額は18.5%上昇しました。当期、米国株式市場が上昇したことがプラス要因となりました。

ベンチマークとの差異について

当期、当ファンドの基準価額は18.5%上昇しました。また、ベンチマークであるS & P 500指数(円換算ベース)は18.0%上昇しました。

ベンチマークとの差異については、当ファンドには保有資産からの配当金が計上されましたが、ベンチマークには配当金の受け取りが反映されないことがプラス要因となりました。一方、当ファンドにおいて信託報酬等コスト負担が発生することなどがマイナス要因となりました。

【基準価額とベンチマークの対比(期別騰落率)】



分配金について

収益分配は基準価額水準、市場動向等を勘案して、見送りとさせていただきます。留保益の運用につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

■分配原資の内訳(1万口当り)

項目	当期 2021年5月7日 ~2022年5月2日
当期分配金(税込み)	-円
対基準価額比率	-%
当期の収益	-円
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	25,508

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針について

当ファンドの運用方針に従い、米国の株式市場を代表する指数に連動する運用成果を目指します。

◇ファンド状況

■ 1万口当りの費用明細

項目	第9期		項目の概要
	(2021.5.7~2022.5.2)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	125	0.375	信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 期中の平均基準価額は33,353円です。
(投信会社)	(53)	(0.158)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(64)	(0.190)	販売会社分は、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(9)	(0.027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.001	売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 / 期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資信託受益証券)	(0)	(0.001)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 / 期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	4	0.013	その他費用 = 期中のその他費用 / 期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.002)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(3)	(0.010)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(1)	(0.002)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	130	0.389	

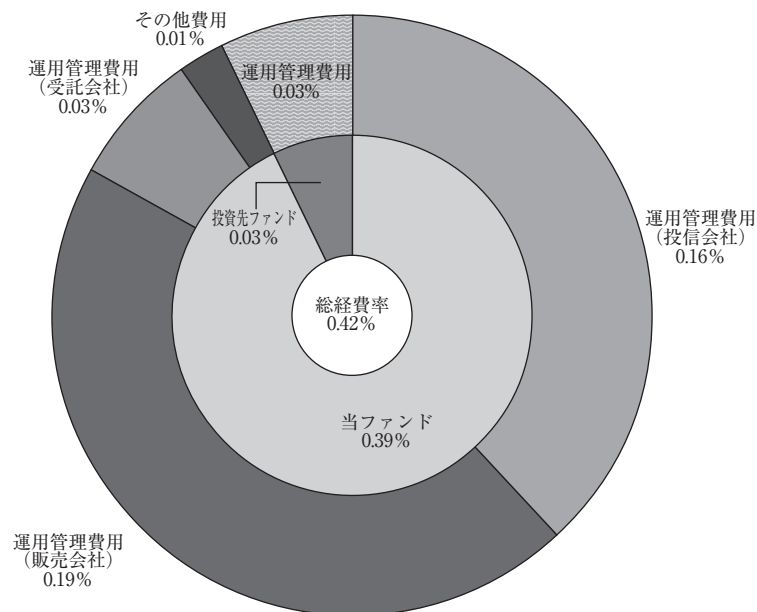
(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当りのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

■総経費率



※当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は0.42%です。

総経費率(①+②)	0.42%
①当ファンドの費用の比率	0.39%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.03%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券です。

(注5) ①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

(注8) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

◇運用内容

■売買及び取引の状況(2021年5月7日から2022年5月2日まで)

投資信託受益証券

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国	iShares Core S&P 500 ETF(アメリカ)	千口 68	千米・ドル 30,656	千口 4	千米・ドル 2,071

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) ()内は、発行国です。

■主要な売買銘柄(2021年5月7日から2022年5月2日まで)

投資信託受益証券

銘 柄	買 付			売 付			
	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
iShares Core S&P 500 ETF	千口 68	千円 3,509,140	円 51,346	iShares Core S&P 500 ETF	千口 4	千円 247,477	円 53,904

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合(2021年5月7日から2022年5月2日まで)

当期における株式の売買はありません。

■利害関係人との取引状況(2021年5月7日から2022年5月2日まで)

上記期間における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

外国投資信託受益証券

銘 柄	期 首(前期末)		当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額		
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(アメリカ)	千口	千口	千米・ドル	千円	
iShares Core S&P 500 ETF	141	204	84,742	11,025,063	
通貨小計	口 数 ・ 金 額	141	204	84,742	11,025,063
	銘 柄 数 ・ 比 率	1銘柄	1銘柄	-	(97.7%)
合 計	口 数 ・ 金 額	141	204	-	11,025,063
	銘 柄 数 ・ 比 率	1銘柄	1銘柄	-	(97.7%)

(注1) ()内は、期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注3) 口数、評価額の単位未満は切捨て。

◇資産状況

■投資信託財産の構成

2022年5月2日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	11,025,063	97.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	317,654	2.8
投 資 信 託 財 産 総 額	11,342,717	100.0

(注1) 当期末における外貨建資産(11,074,252千円)の投資信託財産総額(11,342,717千円)に対する比率は、97.6%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。換算レートは、1米・ドル=130.10円です。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年5月2日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	11,342,717,546円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	317,654,136
投資信託受益証券(評価額)	11,025,063,410
(B) 負 債	57,376,758
未 払 解 約 金	38,087,993
未 払 信 託 報 酬	18,854,265
そ の 他 未 払 費 用	434,500
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	11,285,340,788
元 本	3,178,249,942
次 期 繰 越 損 益 金	8,107,090,846
(D) 受 益 権 総 口 数	3,178,249,942口
1 万 口 当 り 基 準 価 額(C/D)	35,508円

<注記事項>

期首元本額	2,192,926,939円
期中追加設定元本額	2,259,596,030円
期中一部解約元本額	1,274,273,027円

■当期の分配金

当期の分配金は見送らせていただきました。

(注) 第9期計算期末における、費用控除後の配当等収益(97,096,908円)、費用控除及び繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(985,279,477円)、収益調整金(有価証券売買等損益相当額)(2,733,342,830円)、収益調整金(その他収益調整金)(3,303,199,954円)、分配準備積立金(988,171,677円)により、分配対象収益は8,107,090,846円となりましたが、委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案し、当期は分配を見合わせました。なお留保金につきましては、引き続き元本部分と同一の運用をしていきます。

■損益の状況

自2021年5月7日 至2022年5月2日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	100,232,388円
受 取 配 当 金	100,232,388
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	1,017,099,176
売 買 損 益	1,577,172,015
売 買 損 益	△ 560,072,839
(C) 信 託 報 酬 等	△ 34,955,179
(D) 当 期 損 益 (A+B+C)	1,082,376,385
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	988,171,677
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	6,036,542,784
(配 当 等 相 当 額)	(3,303,199,954)
(売 買 損 益 相 当 額)	(2,733,342,830)
(G) 合 計(D+E+F)	8,107,090,846
次 期 繰 越 損 益 金(G)	8,107,090,846
追 加 信 託 差 損 益 金	6,036,542,784
(配 当 等 相 当 額)	(3,303,199,954)
(売 買 損 益 相 当 額)	(2,733,342,830)
分 配 準 備 積 立 金	2,070,548,062

(注1) 損益の状況の中で有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中の信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

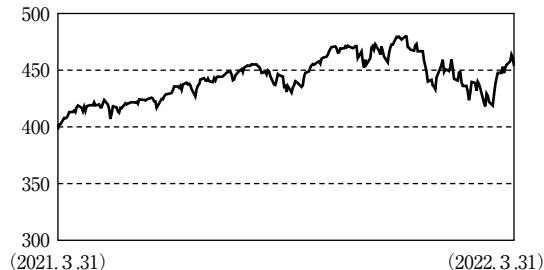
(注3) 損益の状況の中で追加信託差損益金とは追加信託の際、追加代金と元本の差額をいいます。

◇組入上位ファンドの概要

◆iShares Core S&P 500 ETF

○基準価額の推移

(米・ドル)



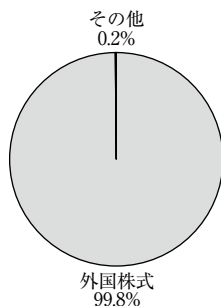
○上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
APPLE INC	米・ドル	7.1%
MICROSOFT CORP	米・ドル	6.0
AMAZON COM INC	米・ドル	3.7
TESLA INC	米・ドル	2.4
ALPHABET INC CLASS A A	米・ドル	2.2
ALPHABET INC CLASS C C	米・ドル	2.0
NVIDIA CORP	米・ドル	1.8
BERKSHIRE HATHAWAY INC CLASS B B	米・ドル	1.7
META PLATFORMS INC CLASS A A	米・ドル	1.3
UNITEDHEALTH GROUP INC	米・ドル	1.3
組入銘柄数	506銘柄	

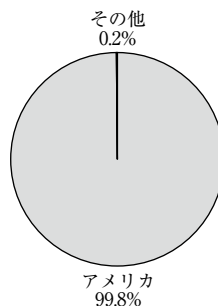
○1万口当りの費用の明細

当該情報の取得が不可能であるため記載しておりません。

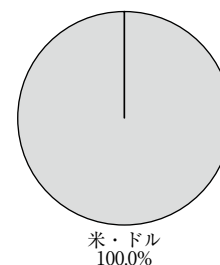
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 基準価額の推移は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

*当社適時開示資料作成にあたり使用しておりますブラックロック・グループのデータに基づき記載しております。